

イチゴ摘み取り体験に来て

中津川市「ファンファーミング」がPR



赤く実を付けた自慢のイチゴをアピールする田口心平社長。中津川市加子母、ファンファーミング

中津川市加子母の農産物や花き生産、販売の「ファンファーミング」で、今季のイチゴの摘み取り体験が本格的に始まっており、週末を中心に鈴なりに実ったイチゴを楽しむ来場者でにぎわっている。

地元の産直市場なども運営する同社では、5年ほど前からイチゴの作付けを開始し、約720平方メートルのハウス6棟で栽培。品種は定番の「章姫」や甘い香りが特徴の「かおり野」、甘さと酸味のバランスがほど良い「よつぼし」に加え、今季から「すず」と「甘えくぼ」といった市場に出回る

機会が少ない2品種を加えた計5品種を育てている。田口心平社長は「今季は豊作。加子母産のイチゴのおいしさを知ってほしい」とアピールする。

摘み取り体験は、日替わりの3品種を30分間食べ放題制で実施。料金は中学生以上が2300円、小学生1900円、小学生未満1600円(3歳児以下は無料)。同社ホームページでの予約が必要で、毎週金曜日から月曜日までの4日間の予約を受け付けている。今季は4月20日ごろまで受け付ける予定で、週末は来月中旬まで予約が埋まりつつあるが、平日に限れば今月中も空きがある。

(富樫一平)